

酒田市立資料館 第二〇九回企画展

没後一〇〇年

加藤雪窓

—酒田人に愛された天才画家—

「雪中鹿図屏風」 当館新収蔵

平成30年

平成31年

11月23日(金)～2月11日(月)

休館日

11月 無休

12月～3月 月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)

開館時間

午前9時～午後4時30分

入館料

一般100円、小～大学生50円

(土日は小・中学生無料)

鹿児島市西郷南洲顕彰館・
庄内南洲会・酒田市立資料館連携企画

西郷隆盛特別展示

2階展示室特設コーナーにて12月末まで開催

開館40周年

酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8-16

TEL/FAX: 0234-24-6544

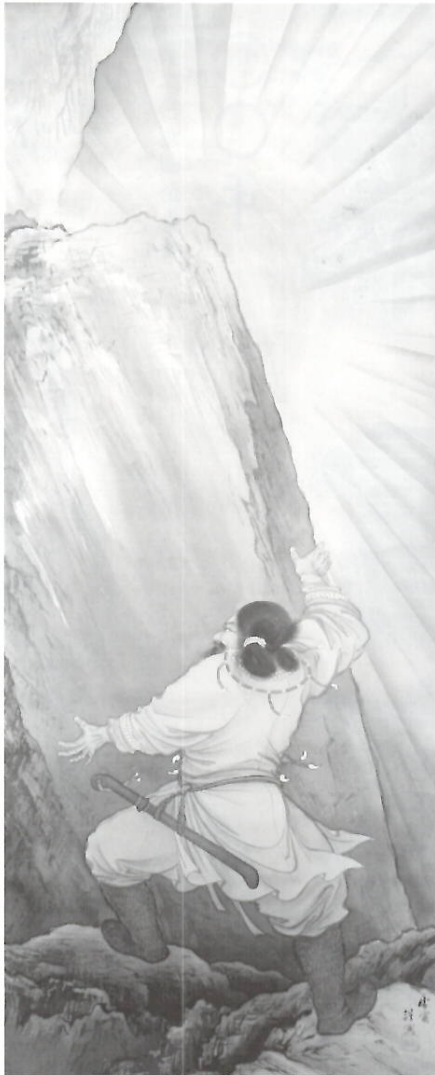
E-mail: sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



没後100年

加藤 雪窓

—酒田人に愛された天才画家—



「岩戸別命尊像」 当館所蔵



「旅僧」 個人蔵

加藤^{せつそう}雪窓は明治5年(1872)秋田に生まれ、幼いころに両親を亡くしたあと祖父と共に各地を遍歴、明治22年(1889)から酒田に住んだ画家です。

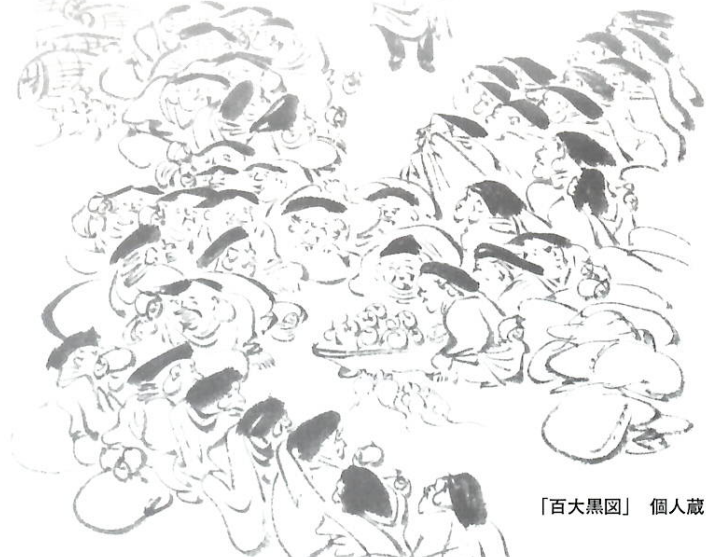
明治29年(1896)有志者の支援により上京、日本画の大家・橋本雅邦に師事、「釣艇夕照図」「擔薪読書図」が東宮殿下と宮内省のお買い上げになるなど中央で活躍しましたが、10年ほどで酒田に戻りました。



加藤雪窓(個人所蔵写真)

酒田では今町観音小路(現日吉町)に住み、多くの文人、風流人と交流、旧家や料亭から襖絵を依頼されるなど、多くの書画を市内に残しました。「日枝神社大祭行列絵懸額」「林和靖放鶴図屏風」は、市の指定文化財に登録されています。

大正7年(1918)11月に没し、没後100年になる今年、当館では初となる雪窓単独での企画展となります。新収蔵した「雪中鹿図屏風」「保津川雨中曳船図」の2点を初公開するほか、ご子孫をはじめとする多くの方のご協力により、これまで公開されることのなかった作品や下絵などを紹介します。



「百大黒図」 個人蔵

資料館調査員による展示解説

12月8日(土) 午前10時より(1時間程度)

会場／酒田市立資料館1階展示室

料金／無料(入館料別途必要)

※要申し込み。駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問い合わせください。

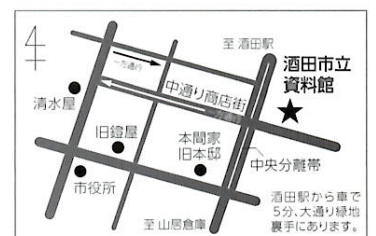
問/TEL 0234-24-6544



スケッチブック
個人蔵

協力者一覧

加藤健氏、加藤正樹氏、梅木強氏、学仙院、小松尚氏、佐藤紳子氏、正傳寺、泉流寺(由利本荘市)、平野昭子氏、本間家旧本邸、(公財)本間美術館、酒田市立光丘文庫



次回企画展
予告

酒田雛街道 おひなさまと晴れを彩る着物展(仮)

開催期間 平成31年2月16日(土)～4月1日(月)